



デメテル Demeter

群馬県立自然史博物館だより No.27

Newsletter of Gunma Museum of Natural History 2003.秋

デメテルはギリシャ神話に登場する大地の女神で、群馬県立自然史博物館のシンボルマークになっています。



オクトリカブト

ミノカサゴ(提供:鳥羽水族館)



ベニテングタケ

スマトラコブラ(提供:日本蛇族学術研究所)



第20回企画展「毒と薬 -毒をあやつる生き物たち-」

開催期間 平成15年10月4日(土)~11月24日(月)

私たちの身の回りには有毒生物が生活し、日常生活の中で、またレジャー中に出会ってしまうことがあります。一方、私たちは薬草をはじめとして、生物の毒成分を利用しています。毒を利用するのはヒトだけではありません。他の生物が作り出した毒を利用したり、有毒生物に擬態して自分の身を守るものもあります。

この企画展は、このような視点で有毒生物とその利用を実物展示やクイズなどを通して紹介します。有毒生物の正しい知識をもって、生活の中に役立てていただくとともに、ヒトを含めた生物が巧みに毒を利用する知恵を見ていただければ幸いです。

(学芸グループ 大森威宏)

企画展記念講演会 「身近な毒草」

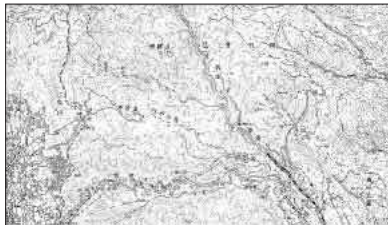
日時：平成15年10月13日(祝日)午後1:30~
講師：田所作太郎(元群馬県立医療短大長)

企画展記念自然教室 「日本の毒蛇を観察しよう」

日時：平成15年11月2日(日)午前10:30~
午後2:00~
講師：日本蛇族学術研究所職員

はじめに

地図は生物系や地学系の調査をするうえで、また、気軽に山歩きをするうえでも、無くしてはならないものです。しかしながら、報告書などで調査地域の概要を地図そのものを使って示そうとすると、地形が細かすぎて、どこが尾根なのか、谷なのか見づらいものになってしまうことがあります。



そこで、地形の概要をなだらかな線で表示できる切峰面図の作製の仕方をご紹介します。

切峰面図とは、切峰面「ある地域を一定の面積に区画し、各区画内の最高点に接するように空中に仮想した曲面」（平凡社の地学事典）を図に表したものです。

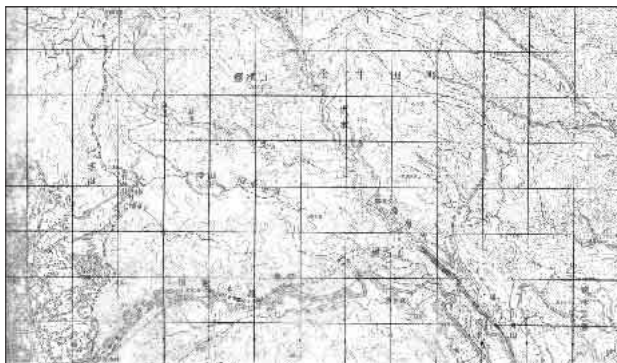
作業にやや時間がかかりますが、自分のオリジナルな地図ができますので挑戦してみてくださいいかがでしょうか。

用意するもの

鉛筆、消しゴム、サインペン、トレッシングペーパー、地図、セロテープ、線引き

作業方法

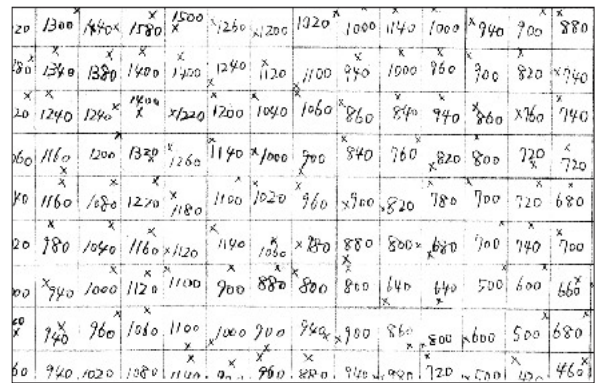
作業1 正方形を格子状に書く



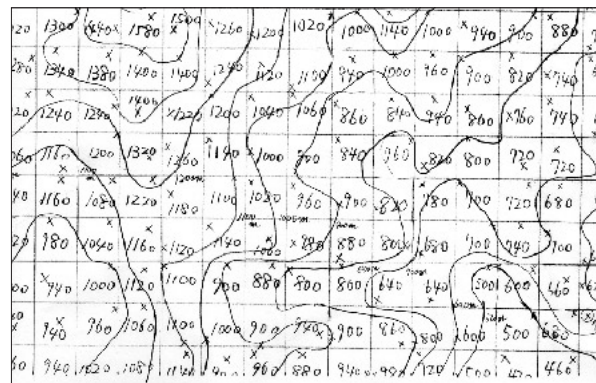
トレッシングペーパーに鉛筆で一定の面積の正方形を格子状に書く。地図の上に乗せてトレッシングペーパーがずれないように上面だけセロテープでとめる。（今回は、国土地理院発行5万分の1地形図「軽井沢」を使用。格子の間隔は1.5cmとした。）

作業2 各正方形内の最高点をプロットする

トレッシングペーパー上に正方形内の最高点を鉛筆で印をして、その高度を記入していく。

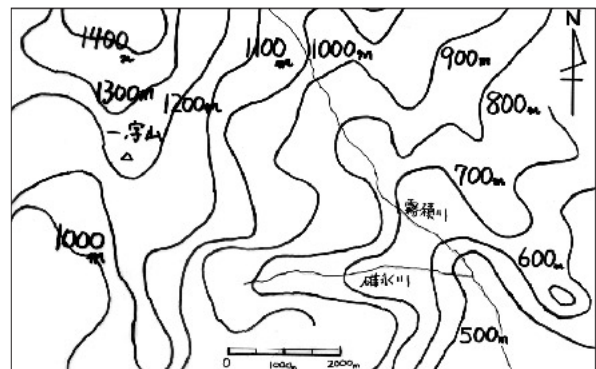


作業3 等高線を引く



100mごとに等高線を鉛筆で引いていく。鉛筆で引き終わったらサインペンで等高線だけ書き入れる。

作業4 切峰面図を完成させる



鉛筆で書き入れた格子線、最高点をプロットした記号や数値を消しゴムで消す。川や山の地名を記入する。スケール、方位を入れて完成させる。

（学芸グループ 池内君雄）

スタジオ

はじめに

自然史博物館にもスタジオがあります。スタジオと聞くと、アナウンサーやカメラマンがいて、テレビやラジオの放送や映画の撮影などを行う華やかで広い場所を想像しますが、自然史博物館のスタジオは、博物館に入ってくる剥製や骨格などの資料を撮影して記録する場所なので、アナウンサーもカメラマンもいません。また、それほど広くありません（16畳程度）。

スタジオにある機材

博物館に入ってくる資料は、動物の剥製や骨格などの大型のものから、昆虫のような小型なものまで、大きさが様々です。そのため、資料の大きさによって2種類の照明装置（写真・ ）と大型の資料を撮影するためのセット（写真 ）を使い分けて撮影します。

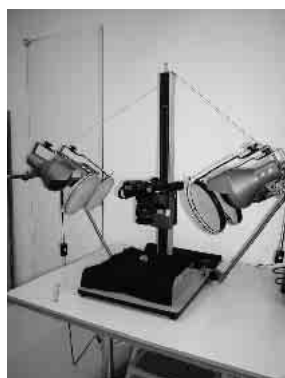


写真 小型資料用の照明装置



写真 中型資料用の照明装置

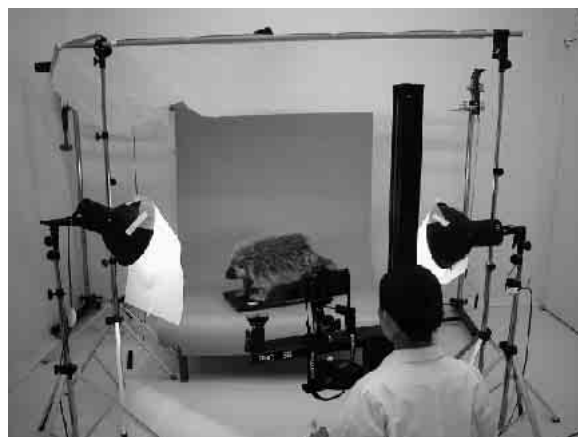


写真 大型資料を撮影するセット

スタジオには、アナログ大判カメラ（フィルムを使用するカメラ：写真 左および中）、そして、デジタルカメラ（写真 右）があります。



写真 スタジオのカメラ

また、撮影した資料の画像を修正したり、博物館のデータとして蓄積したりするためのパソコン（写真 ）があります。



写真 スタジオのパソコン

デジタル化の流れ

博物館の資料の撮影は、近年、アナログカメラよりデジタルカメラを用いることが多くなっています。それは、資料の画像を含め、資料についての多くの情報をデータベースで管理するためです。

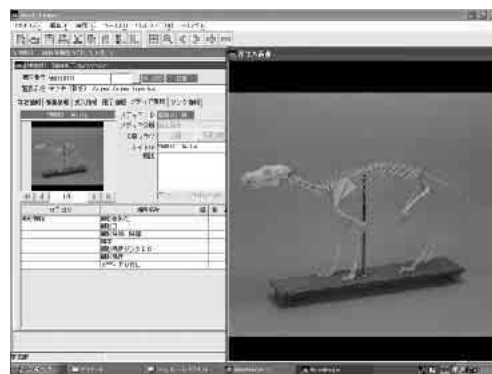


写真 データベース画面

資料の画像はWeb上で公開しております。今後も、県民の皆様にも広くご利用いただけるよう資料の撮影・記録を進めていきます。

（学芸グループ 松本 功）

当館では、学校や社会教育施設で利用していただくための化石や標本などの貸出を無料で行っています。「教科書に載っているのに、本物がみせられない」「こんなものがあったら楽しい行事ができる」と考えている先生や職員の皆さんに利用していただくためのセットです。

始祖鳥やティランノサウルスの歯など15点の化石がセットになった「いろいろな化石」。ヒラコテリウムからメソヒップスそしてエクウスへと続くウマの足の「進化の根拠」。借用頻度の高い「動物頭骨標本」。食性により形状の異なる臼歯が学習できる「動物の歯のレプリカ」。さらに人気の高い「液体室素」や「天体望遠鏡」、「学習用ビデオ」などがあります。

また、昨年より新たな資料が加わりました。「液体室素実験セット」と「化石のレプリカ作成」です。



写真で紹介している「化石のレプリカ作成」は、三葉虫とアンモナイトのレプリカを作ることができます。博物館の体験活動で、最も人気の高いこのレプリカ作成をぜひご利用下さい。

(総務普及グループ 三田照芳)

インフォメーション (10月～12月の予定)

第20回企画展「毒と薬 -毒をあやつる生き物たち-」 10月4日(土)～11月24日(月)

10月
 5日(日) 自然史講座「日本の人類化石産地を訪ねて」
 12日(日) ファミリー自然観察会「石灰岩観察と化石」
 毎週土曜日 サイエンス・サタデー「鉱物の不思議実験」

11月
 2日(日) 企画展記念自然教室「日本の毒蛇を観察しよう」
 28日(金)～29日(土) 移動博物館(会場：新治村立新巻小学校)
 毎週土曜日 サイエンス・サタデー「カメの飛び出すジオラマづくり」

12月
 6日(土) 天体観望会「水星、金星、火星を見よう」
 12日(金)～1/12日(月) 群馬県理科研究発表大会優秀作品展示
 25日(木)～28日 メンテナンス休館
 29日(月)～1/3日(土) 年末年始休館日
 毎週土曜日 サイエンス・サタデー「岩絵の具で絵を描いてみよう」

利用案内
 開館時間 午前9:30～午後5:00(入館は午後4:30まで)
 休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)
 一般500円(400円)、高校・大学生300円(240円)
 観覧料 10月4日～11月24日の企画展開催中は一般700円(560円)、高校・大学生400円(320円)
 中学生以下・障害者及びその介護者1名は無料、()内は20名以上の団体料金

凡例

- 自然教室
- 天体観望会
- ファミリー自然観察会
- 自然史講座
- 電話で申し込み
- 往復ハガキで申し込み

休館日
 ○印の日は休館いたします。

10月

日	月	火	水	木	金	土
・	・	・	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	・

11月

日	月	火	水	木	金	土
・	・	・	・	・	・	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

12月

日	月	火	水	木	金	土
・	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	・	・	・